

項番	会議	分類	ご指摘事項	回答
1	第一回検討会	全般	今回の実証の成果を効果的に周知する方法やタイミングを考え、民間企業の活力が出るような広報を実施すべき。	今回の実証の成果については、マスコミ取材対応、WEBサイトでの周知などを行っていく予定。
2	第一回検討会	アイディアソン・ハッカソン	アイディアソン、ハッカソンについても幅広く人を集めれば、作成したアプリケーションを来場者に見てもらおうと、来場者と作成者として事業化することも十分あり得るので、そういう機会を作ってほしい。	アイディアソン・ハッカソンの結果については、WEBサイト等で広く周知する。ハッカソンでの成果について審査会の実施を予定しており、来場者を募る予定。
3	第一回検討会	中間団体	中間団体のありかたを考慮した検討が必要。 公的側面が強い場合： オープンデータ化を目指す色が濃くなり、基準や規格を決めることや公開のためのインセンティブ・制度が必要。 ビジネス的側面が強い場合： 屋内地図の収益で地図を整備していくならば、民間企業が競争的に参入した方が良い。	提供する地図および提供先主体などに応じて有償または無償での提供を行うことを想定して中間団体のありかたを検討しています。 【資料 推進検討ワーキンググループ検討状況報告 5ページ「4. 施設管理者と中間団体の関係性の検討・整理②」】
4	第一回検討会	中間団体	中間団体の業務のレベルをどこまでとするのか議論が必要。 公共的な空間の図面を集めた後の業務として ・マージして地図を販売する ・収集したものをそのまま販売する ・紙資料をデジタル化して販売する	地図調整業者およびサービサーがサービスを展開しやすく、屋内地図を利用した市場を拡大させることを目指して、競争領域を残した協調領域の屋内地図として各種素材からマージしたデータを販売することを想定しています。
5				